

1. 科目名 (単位数)	外国語活動の指導法 (2 単位)		3. 科目番号	SJMP2301						
2. 授業担当教員	澁井 とし子									
4. 授業形態	講義、演習、ディスカッション、ペア・グループワーク		5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・ 他科目との関係										
7. 講義概要	<p>今日、日本の英語教育は著しく進展し、2020 年には、小学校 3、4 年生も外国語活動に参加する。そこでこの新しい動きに柔軟に対応し、より良い授業を目指すため、本講座では、まず、外国語活動の基礎となる外国語指導法や児童のための発音と語彙指導について学習する。次に、テーマを決めて実際に使用されている指導案を検討し、良い点や課題を皆でディスカッションする。その際、受講者自身が外国語活動を体験しつつ、指導法の学びを深め、指導技術に磨きをかける。その後、グループで模擬授業を体験することを通して、外国語活動への理解を深め、教育現場への応用を考えていく。</p>									
8. 学習目標	<p>教師の立場、学習者の立場の両面から、外国語活動の指導について多角的に学習し、オーセンティックな指導案の検討と外国語活動の体験を通して、外国語活動の学習と指導のあり方について理解を深め、模擬授業を通して、教育実践力を高めることができる。</p>									
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>宿題：事前学習と事後学習の欄を見て、丁寧に授業の予習と復習を行うこと。 レポート課題： ①外国語活動・活動案のレポート ②授業振り返りシート15回分</p>									
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 小川隆夫・東仁美『小学校英語はじめる教科書 外国語・外国語活動指導者養成のためにーコア・カリキュラムに沿って』 mpi 文部科学省『Let's Try! 1』東京書籍 文部科学省『Let's Try! 2』東京書籍</p> <p>【参考書】 文部科学省『小学校学習指導要領解説 外国語活動編』2017 年 岡秀夫・金森強『小学校外国語活動の進め方・「ことばの教育」として』 成美堂</p>									
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国語活動の目標と内容について理解を深めることができたか。 2. 外国語活動の指導法・発音・語彙指導に関する理解を深めることができたか。 3. 実際に使用されている指導案の検討と外国語活動の体験を通して、外国語活動の学習と指導の在り方について理解を深めることができたか。 4. 模擬授業の体験とクラスディスカッションを通して、教育実践力を高めることができたか。 <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>復習テスト</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>レポート課題</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>コースワーク (授業中の態度、言語活動参加度、グループワークレポートを含む。)</td> <td>30%</td> </tr> </table>				復習テスト	30%	レポート課題	40%	コースワーク (授業中の態度、言語活動参加度、グループワークレポートを含む。)	30%
復習テスト	30%									
レポート課題	40%									
コースワーク (授業中の態度、言語活動参加度、グループワークレポートを含む。)	30%									
12. 受講生への メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は、単位の修得は基本的に認められない。 ・受講にあたっては、事前学習と事後学習を丁寧に行い、授業中は、受講者全員を思いやり、授業に集中し、多くの知識・技能を習得すること。 									
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) で周知する。									
14. 授業展開及び授業内容										
講義日程	授業内容	学習課題								
第 1 回	オリエンテーション 第三部 Unit 1 小学校教育の理念と現状の理解、授業観察	事前学習	教科書 (pp. 134-136) を読み、小学校外国語活動の意義と内容を把握する。							
		事後学習	小学校外国語活動の意義を再確認する。							
第 2 回	第三部 Unit 2 中学年外国語活動から高学年外国語科への接続	事前学習	教科書 (pp. 138-141) を読み、外国語の接続について内容を把握する。							
		事後学習	中学年と高学年の英語の違いを整理する。							
第 3 回	第三部 Unit 3 発達心理学の基礎	事前学習	教科書の (pp. 142-145) を読み、発達心理学について内容を把握する。							
		事後学習	発達心理学と英語との関係を整理する。重要ポイントをまとめる。							
第 4 回	第三部 Unit 4 外国語 (英語) 活動のねらいと活動のあり方	事前学習	教科書 (pp. 146-149) を読み、外国語活動のねらいについて内容を把握する。							
		事後学習	外国語活動のねらいを理解し、外国語活動のあり方を整理する。							
第 5 回	第三部 Unit 5 児童の認知・情緒発達に即した指導法	事前学習	教科書 (pp. 150-153) を読み、児童の認知発達について内容を把握する。							
		事後学習	学年による違い、発達段階の教え方の違いを整理し、理解する。重要ポイントをまとめる。							

第6回	第三部 Unit 6 学級担任と外部指導者とのチーム・ティーチング、復習テスト①	事前学習	教科書 (pp154-157) をよみ、チーム・ティーチングについて内容を把握する。
		事後学習	チーム・ティーチングにとはどのような指導かを整理する。
第7回	第三部 Unit 7 ことばへの気づきをもたらす指導	事前学習	教科書 (pp. 158-161) を読み、ことばへの気づきとは何かを把握する。
		事後学習	どのようにしたら子どもたちに気づきを促せるのかポイントをまとめる。
第8回	第三部 Unit 8 外国語活動における評価	事前学習	教科書 (pp. 162-165) を読み、評価について内容を把握する。
		事後学習	評価の種類とどのように見取ればよいのか、評価の意味を理解する。
第9回	第三部 Unit 9 中学年に適した様々な活動	事前学習	教科書 (pp. 166-169) を見て、内容を把握する。
		事後学習	ドリルにならない中学年に適した活動を各自が考える。
第10回	第三部 Unit 10 中学年に適した教材	事前学習	教科書 (pp. 170-173) を見て、内容を把握する。
		事後学習	中学年が興味をもつ教材の研究を行う。
第11回	第三部 Unit 11 英語によるやり取りの仕方	事前学習	教科書 (pp. 174-177) を読み、内容を把握する。
		事後学習	「やり取り」とは何かを理解し、適切なやり取りのある活動を考える。
第12回	第三部 Unit 12 児童の発話の引き出し方・児童とのやり取りの進め方	事前学習	教科書 (pp. 178-181) を読み、内容を把握する。
		事後学習	どうしたらドリルにならないで、発話を引き出せるのかポイントをまとめる。
第13回	第三部 Unit 13 語彙や表現に慣れ親しませる方法	事前学習	教科書 (pp. 182-185) を読み、内容を把握する。
		事後学習	語彙や表現を知らないうちに何度も発話していた、という方法を理解し、ポイントをまとめる。
第14回	第三部 Unit 14 読み聞かせ指導 復習テスト②	事前学習	教科書 (pp. 186-189) をみて、内容を把握する。
		事後学習	絵本を手に取り、実際に英語での読み聞かせを行う。
第15回	第三部 Unit 15 発表活動の指導	事前学習	14 回分の授業振り返りシートを見直し、最重要項目をまとめ、記録する。
		事後学習	発表活動の行い方を理解する。 授業振り返りシートを提出する。